

大型品種ピーマンの収量向上を目指した栽培と販路拡大 ～神山氏（沖縄県伊是名村）～

経営体の概要

事業実施前

なし

現在：令和5年

基幹作物：ピーマン（施設栽培）10a、
さとうきび1ha

経営面積：1.1ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●水源に乏しく、畑かん施設が不備であったため、干ばつの不安やため池等からの用水運搬の後、手掛けによるかん水を行う等、労力を要していた。

【現在】

●かんがい施設が整備され、給水栓を開閉するだけでかん水が可能となり、干ばつの不安が解消され、作物の生育ステージに合わせたきめ細やかな水管理が可能となり、導入作物の選択肢も増加した。

営農改善、経営転換等のポイント

①かん水省力化も踏まえた代表作物の選定

事業によりかんがい施設が整備されたことで、ピーマンを主力にさとうきびを組み合わせた経営を行っている。ピーマンの品種は、学生時代から栽培経験があり、他品種より食味に優れることから大型品種を選定。栽培に当たっては、鶏糞やもみがら、糖蜜など有機物を積極的に使用した土づくりを行うほか、毎日のかん水により単収の向上に努めている。



収穫前のピーマン

②流通・販売の工夫

収穫したピーマンは、ネット販売も行っている他、沖縄本島（名護市）にある「ファーマーズマーケットやんばる」でも販売している。



ファーマーズマーケットで販売されるピーマン

③農業体験や農福連携の取り組み

一時期コロナの影響で中止していたが、民泊事業において修学旅行生等に農業体験の機会を提供するとともに、ファーマーズマーケットへのピーマンの出荷にあたっては、島内社協の協力を得て袋詰めを行う等、農福連携の取り組みも実施している。



農業体験の状況

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：伊是名村

受益面積：520ha

事業期間：平成11年度～平成23年度

事業目的：畑地かんがい

主要工事：地下ダム1箇所、貯水池1箇所
用水路4.2km、水管理施設一式

位置図



伊是名地区

<問い合わせ先>

沖縄総合事務局
農村振興課 企画指導官
電話：098-866-1652
(内線：83338)

(令和5年度調査時点)